

## 令和4年度 学術集会プログラム委員会 活動報告

令和4年度下半期 学術集会プログラム委員会活動報告

担 当 理 事：家原知子、副 担 当 理 事：木下義晶  
前担当理事：米田光宏、前副担当理事：盛武 浩  
委 員 長：高木正稔、副 委 員 長：藤崎弘之  
委 員：副島俊典、柴徳生、野上恵嗣、川久保 尚徳、  
井上 健、森 麻希子、柳生 茂希、小野 滋

### 【委員会開催】

2022年11月24日 対面会議  
2022年12月21日 19時00分 web会議  
2023年2月8日 18時00分 web会議  
2023年6月7日 18時30分 web会議

### 【活動内容】

1. 上級演題を中心とした学術集会プログラム内容の作成
2. 演題採否や学術集会開催に関する課題の検討  
優秀演題の選定、査読者から指摘があった演題について検討し、対応した。

第65回日本小児血液・がん学会学術集会上級演題プログラム

血液腫瘍（基礎）：「Latest advances in Leukemia/Lymphoma genomics」

血液腫瘍（臨床）：「CAR-T療法 ～「これまで」と「これから」～」

非腫瘍性血液疾患：「小児血栓止血診療の課題がどこまで解明され、どのように今後展開されていくのか？」

固形腫瘍（基礎）：「神経芽腫に対する新規治療開発」

固形腫瘍（臨床）・外科：「小児・AYA世代脳腫瘍治療の最前線を知る」

外科：「血管腫・脈管奇形・血管奇形・リンパ管奇形に対する新しい治療戦略」

外科：「肝芽腫に対する外科治療 肝移植 VS 高難易度肝切除」

放射線治療：「緩和的放射線治療の有効性を知ろうー成人の緩和的放射線治療のエビデンスから学ぶ」

病理：「遺伝性腫瘍/腫瘍素因症候群をめぐる諸問題ー症例を通じて学ぶ」

要望演題

3 団体合同公開シンポジウム：「小児・AYA世代がん患者家族の心のケア～私たちが今日からできること～」

2 学会合同シンポジウム：「いまあらためて「緩和ケア」を問う」

看護学会シンポジウム：「子どもの生活を整え、本来もつ「力」を大切にする看護を考える（仮）」「AYA世代のがん患者の「自分らしさ」を支える（仮）」

日本小児血液・がん学会、日本癌学会合同シンポジウム

日韓合同セッション：「Comprehensive Genomics in Childhood Cancer」

女性活動支援シンポジウム

女性医師活躍支援委員会 特別企画シンポジウム

JSPHO&JCCG 特別企画 ジョイントシンポジウム：「長期フォローアップの問題点と今後の展望（仮）」

EWOG-MDS ジョイントシンポジウム

教育セッション：Web 配信

- ・肝腫瘍
- ・脳腫瘍（ATRT/上衣腫、胚細胞性腫瘍）
- ・造血幹細胞移植
- ・凝固異常症：血友病以外
- ・支持療法（感染対策を含む）
- ・新薬開発（ドラッグラグを含む）